

エゾスジグロシロチョウはチョウの時期に訪れた北海道ではおおむねどこでも目にできるチョウで、あまり熱心に観察をしないでやり過ごしてしまうのだが、かつてオオイチモンジを目的として訪れた瀬戸瀬温泉ホテルでの夕食時に、給仕をつとめてくれた仲居さんが、ここらでは後ろ羽が赤い珍しいチョウをみる、と話してくれたその正体を突き止めた楽しい思い出のチョウになっている。

July 22, 1997 北海道瀬戸瀬温泉

夜明けの早い北海道だけあって、7時前だが本道から右手に入りこんだ沢方面には早くも朝日が当たっているのでもちらに踏み込んで進む。右下にコンクリート堰堤が望める広場の足元にピンクを帯びたクローバーがたくさん花を咲かせておりエゾスジグロシロチョウが群れて吸蜜している。何という花粉が付着したのか後翅裏面を赤く染めた個体を多くみかける。昨夜ホテルでの夕食時に給仕にみえたおばちゃんが話してくれた、例の後翅に赤い紋をもつ珍しいシロチョウである。それにしても吸蜜している花：ウツボグサには赤い花粉らしきものは見当たらず、この正体は不明のまま。ここらはまだ陽射もうすいのにエゾスジグロシロチョウはずいぶん早起きの蝶だ。



July 11, 2017 : 北海道愛山溪

初日の蝶探索地として 1999 年にオオイチモンジに会えた愛山溪を目指す。アザミに吸蜜飛来したカラスアゲハの撮影記録は満足のいく映像として残せていないが、エゾスジグロシロチョウの姿は何度か目にするので撮影記録だけはとっておく。



July 13, 2017 : 富良野の布礼別川林道

林道には 2 日続けての訪問。朝から気温 28 度の好天気です。林道に湿地帯は少なく、車で入れる約 1km 区間に昨日同様 3 か所だけ。昨日とは場所が変わっているがエゾスジグロシロチョウの集団吸水が今日も見られる。

しかし、その規模は 2007 年 7 月 15 日にまだ全行程を走り抜けられた



た林道で観察できた、傍を車で走ると一面にチョウ吹雪が舞い上がった大集団に比べると寂しい数。